

三連水車を未来につなぐ文化継承の森づくり

科研 B：災害後の森林環境と人間の関係性を再生する芸術文化的実践—英彦山分水嶺を中心に—

(九州大学芸術工学研究院教授 知足(ともたり)美加子)

2025 年度
進行中の
プロジェクト



朝倉の三連水車



英彦山のアカマツ球果から発芽
(九大農学部圃場)

朝倉三連水車は豪雨災害後 1 ヶ月で稼働し「復興のシンボル」となりました。5 年毎に造り替えられますが、素材高騰に加え、マツ材線虫病蔓延によって**アカマツ（中心軸）**の調達が困難な状況が続いています。そこで、**文化継承に必要な木材（アカマツ、カシ、シュロ等）を育成**する「三連水車を未来につなぐ文化継承の森づくり」プロジェクトとして、**小石原川ダム横のコア山の一部で試験的な森づくり**を行うこととなりました。九大農学部の協力のもと、英彦山、朝倉地区の**在来種実生苗、球果、挿木枝**を採取し植栽準備を進めています。また、三連水車の 3D データをとり、1/40 立体模型や CG 動画を制作しました。これらは水車大工の技術伝承、および自然エネルギーを利用する水車の SDGs 的価値を再評価し、**次世代の教育に役立てる**ものです。



三連水車の軸（アカマツ）



小石原川ダムの植栽予定地



アラカシ挿し木用枝採取
(宮崎氏私有地)



文化継承の森のデザイン WS



アカマツ実生苗採取
(英彦山座主院近辺)



三連水車 1/40 模型



三連水車揚水のしくみ CG 映像